

1 単元名 体づくり運動 「サーキットじゃんけんゲームをしよう」

2 目標

- 運動に進んで取り組み、決まりを守って仲よく運動をしたり、場や用具の安全に気を付けて運動しようとしたりする。 (運動への関心・意欲・態度)
- 運動の行い方が分かり、動きを組み合わせたり友達のよい動きを見付けたりして運動を工夫することができる。 (運動についての思考・判断)
- 体づくりの基本的な動きをそれぞれに身に付けることができ、その動きを組み合わせる運動を行うことができる。 (運動の技能)

3 指導にあたって (男子*人, 女子*人)

体づくり運動は、「体ほぐしの運動」及び「多様な動きをつくる運動」で構成されている。「体ほぐしの運動」では、いろいろな手軽な運動や律動的な運動を行い、体を動かす楽しさや心地よさを味わうことによって、自分や仲間の体の状態に気付き、体の調子を整えたり、仲間と交流したりすることをねらいとしている。また、「多様な動きをつくる運動」は、他の運動ではあまり扱われない動きを総合的に身に付けるとともに、それらを「組み合わせる動き」を身に付けることをねらいとしている。

本学級の児童は、体育の学習を楽しみにしており、意欲的に活動に取り組む児童が多い。走るが好きでリレーやおにごっこなどの運動や遊びを好むが、特定の遊びに偏る傾向が見られる。また、スポーツ少年団等で定期的に体を動かしている児童もいるが、下校後の生活であまり体を動かしていない児童がいることも分かった。このように、遊びの経験の少なさから動きのぎこちなさが見られるため、基本的な動きを身に付けられるようにすることが必要であると考えます。

そこで、本単元では、児童にとって興味・関心を高められるような学習の場を設定し、動き方や運動のこつ、安全な運動の行い方について、思考・判断しながら習得できるようにする。単に運動をさせるのではなく、動きの目的を意識させ、様々な動きを経験させることで、動きのレパートリーを増やし、動きの質が高まるようにしたい。また、運動を通して考えたことや友達の動きを見て気付いたことを話し合う時間を確保することで、児童が動きを工夫したり、友達との交流を深めたりすることができるようにしたい。さらに、児童にとって魅力的な運動を意図的に設定し、ゲーム的活動を取り入れるなどして、楽しみながら体力の高まりが実感できるような学習を展開していきたい。

4 単元の評価規準

	運動への関心・意欲・態度	運動についての思考・判断	運動の技能
学習活動に即した評価規準	①いろいろな運動に◎ <u>進んで</u> 取り組みようとしている。 ②◎ <u>いつも</u> 友達と互いに励まし合ったり動きを見合ったりしようとしている。 ③用具やスペースなどの身の回りの安全を◎ <u>確かめ</u> ようとしている。	①多様な動きをつくる運動を◎ <u>選ん</u> でいる。 ②友達のよい動きを◎ <u>見付</u> け、自分の運動に取り入れている。 ③なめらかな動きや運動のこつを◎ <u>分か</u> っている。	①体のバランスをとる運動では、姿勢や方向を変える動きやバランスを保つ動きが◎ <u>安定</u> してできる。 ②力試しの運動では、人を押す、引く、運ぶ、支える、力比べなどの動きが◎ <u>安定</u> してできる。 ③体を移動する運動では、速さ・リズム・方向などを変える動きや一定の速さでのかけ足などが◎ <u>なめ</u> らかにできる。 ④用具を操作する運動では、用具をつかむ、持つ、回すなどの用具を操作する動きが◎ <u>なめ</u> らかにできる。 ⑤基本的な動きを組み合わせる運動では、2つ以上の動きを同時あるいは連続して◎ <u>なめ</u> らかに行うことができる。

◎は十分に満足できる状況

5 指導と評価計画（11時間扱い）

段階	時間	学習のねらいと活動	評価計画		
			関	思	技
はじめ	1	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">○オリエンテーション</div> ①学習のねらいや学習の進め方、決まり等を知る。 ②グループ分けをする。 ③体ほぐしの運動を行う。 ④学習カードの使い方を知る。	①		
	2	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">○運動を楽しみながら、多様な動きの感覚を味わう。＜体のバランスをとる運動・力試しの運動＞</div> ①本時のめあてを確認する。	①		①
なか	3	②体のバランスをとる運動・力試しの運動を行う。 ③学習の振り返りをする。	①		②
	4	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">○動きを選び、工夫しながら運動することを楽しむ。</div> ①本時のめあてを確認する。 ②やってみたい運動を選び、工夫しながら運動を行う。 ③自分たちで考えた動きについて、話し合う。 ④学習の振り返りをする。	②	①	
	5	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">○運動を楽しみながら、多様な動きの感覚を味わう。＜体を移動する運動・用具を操作する運動＞</div> ①本時のめあてを確認する。	①		③
	6	②体を移動する運動・用具を操作する運動を行う。 ③学習の振り返りをする。	①		④
	7	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">○動きを選び、工夫しながら運動することを楽しむ。</div> ①本時のめあてを確認する。 ②やってみたい運動を選び、工夫しながら運動を行う。 ③自分たちで考えた動きについて、話し合う。 ④学習の振り返りをする。	②	①	
	8	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">○運動を楽しみながら、多様な動きの感覚を味わう。＜基本的な動きを組み合わせる運動＞</div> ①本時のめあてを確認する。 ②自分たちで考えた動きについて話し合う。	②	②	
	9	③やってみたい動きを組み合わせる工夫しながら運動を行う。 ④自分たちで考えた動きについて、話し合う。 ⑤学習の振り返りをする。	③		⑤
	10	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">○自分たちで考えた運動を楽しむ。「サーキットじゃんけんゲーム」をしよう。</div> ①本時のめあてを確認する。 ②自分たちで考えた動きについて話し合う。		③	⑤
まとめ	11	③自分たちで考えた運動を行う。 ④学習の振り返りをする。	①		

6 本時の学習

(1) 本時の目標

- なめらかな動きや運動のこつを分かって運動することができる。(運動についての思考・判断)
- 組み合わせた2つ以上の基本的な動きをなめらかにすることができる。(運動の技能)

(2) 準備・資料

フラフープ・ドッジボール・平均台・バランス棒・コーン・動きの表示カード・かご・紅白玉・学習カード・掲示資料・CD（プレーヤー）

(3) 展 開 (10/11)

	学習内容・活動	指導上の留意点	評価の観点・方法
はじめ 5分	<p>1 整列, あいさつをする。</p> <p>2 体ほぐしを取り入れた準備運動をする。</p> <p>3 本時のねらいや学習内容を確認する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> グループごとに集合させ, 健康観察をする。 音楽に合わせて, 楽しみながら体の各部位が温まるように, 体ほぐし運動を取り入れる。 	
	サーキットじゃんけんゲームをしよう。		
なか 30分	<p>4 サーキットじゃんけんゲームをする。</p> <p>(1) ゲームの進め方を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> サーキットをするときは, 移動の動きとその場の動きを交互に行う。 各コーナーで体じゃんけんをして, 勝ったら玉入れができる。 スタート位置から一周したら, 玉入れができる。 ゲームは, 10分交代で2回戦行い, 玉入れの合計得点で勝敗を競う。 <p>(2) 赤組と白組に分かれて, サーキットじゃんけんゲームをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> バランス棒運び フラフープ前とび ドリブル 片うで時計回り 平均台わたり バランス棒乗せ くも歩き ボール投げキャッチ 	<ul style="list-style-type: none"> 体つくりの4つの運動を偏りなく組み合わせられるように, 前時までに各グループに割り振っておく。 各グループがまとめた動きの表示カードを(1, 2, 4, 7班…移動の動き、3, 5, 6, 8班…その場の動き)をコーンに掲示する。 運動の場が分かりやすいように, ホワイトボードに全体の活動図を提示する。 各グループが考えた動きについて, 変更点の確認をする。 楽しい雰囲気の中で運動ができるように音楽を流す。 じゃんけんは, 運動量の確保のために体じゃんけんを行うことを確認する。玉入れをするチャンスを増やすため, 各コーナーで声をかけ合って体じゃんけんをしてもよいことを伝える。 混み合ってしまったときは, ルールやマナーを守って安全に行えるように声かけをする。 それぞれの場の動きは, 動きのポイントを意識して行えるように支援する。 動きがなめらかにできている児童を称賛し全体に紹介する。 <p>◇運動の仕方が分からずに戸惑っている児童には, 動きのこつを助言したり, 動きの補助をしたりして支援する。</p>	<p><思考・判断③></p> <ul style="list-style-type: none"> なめらかな動きや運動のこつを分かっている。(観察・学習カード) <p><技能⑤></p> <ul style="list-style-type: none"> 組み合わせた2つ以上の動きをなめらかに行うことができる。(観察)
まとめ 10分	<p>5 学習の振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 学習カードに本時の反省を記入し, 話し合う。 全体で学習をふり返り, 次時の学習を知る。 <p>6 整列, 整理運動, 後片付けをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 動きのこつを見付けて, 積極的に発表できたら称賛する。また, 友達のよい動きについても話し合うようにする。 次時は, 自分が得意とする動きやできなかった動きについて, 工夫しながら運動することを伝える。 分担をして, 短時間で安全に後片付けができるようにする。 	

◇努力を要する状況にある児童への手立て